



【3・4・5月の主催行事】

春のイベント情報



牛久自然観察の森
季刊情報誌



森のしんぶん

春号 No274

こども・親子向け

森でランチ ~季節のいきものや植物の紹介と
絵本の読み聞かせ会~

- 3/9 金 「春をさがそう」
- 4/13 金 「春のはらっぱでこんにちは」
- 5/11 金 「葉っぱのにおいをかいでみよう」



時 間：正午～午後1時
 対 象：幼児とその保護者
 参 加 費：無料
 集合場所：バッタの原日時計の横
 持 ち 物：お弁当、水筒
 備 考：雨天、強風時中止
 申し込み：予約不要、当日受け付け

カブトムシ飼育講座 5/12 土

カブトムシが再び「観察の森」に里帰りできるように、幼虫の育成に挑戦しよう！幼虫を飼育するコツを一緒に学びましょう。

時 間：午前10時～、正午～、午後2時～
 (各回約40分の内容です)
 集合場所：ネイチャーセンター
 対 象：カブトムシの幼虫を初めて飼育する親子
 (主に幼児、小学生低学年向け)
 定 員：各回15組
 参 加 費：1セット1500円(子ども1人につき1セット)
 ※カブトムシ1匹と成虫になるまでに
 必要な飼育容器、土を含みます。
 申 込：電話にて事前申し込み



おたまじゃくしすくい・魚のえさやり体験

毎年2～3月頃にネイチャーセンター内にある水槽コーナー「HACOBIO」でアカガエルの卵塊の生態展示を行っており、3週間もすればたくさんのオタマジャクシが元気に泳ぎだします。5月になると成長したオタマジャクシをネイチャーセンター近くに放しにいく「オタマジャクシの里返し体験」も随時行ないます。毎日、魚のえさやり体験も開催しておりますので、そちらも合わせてご参加下さい♪



大人向け

定例バードウォッチング

3/18 日 4/15 日 5/20 日

園内とその周辺を巡るバードウォッチング。雑木林や池、畑や田んぼなど多様な環境の中をゆっくり散策しながら野鳥を探しましょう。



時 間：午前9時～11時
 対 象：一般
 参 加 費：無料(予約不要)
 持ち物：双眼鏡(無料貸出有)、筆記用具
 集合場所：ネイチャーセンター前
 備 考：雨天時、強風時は中止となります。
 中止の際は、開催1時間前に牛久自然観察の森のHP「観察の森最新情報」内に記載します。
 申し込み：予約不要、当日受け付け

園長の里山ガイドツアー

3/18 日 ~スミシなど早春の植物の観察会~

植物を中心とした園内のネイチャーガイドツアー。里山に生息する植物の生態をわかりやすく解説しながら、園長おすめの場所をゆっくりと歩いて回ります。



時 間：午後1時～3時
 対 象：成人向け
 参 加 費：無料(予約不要)
 集合場所：ネイチャーセンター前
 備 考：雨天時、強風時は中止となります。
 中止の際は、開催1時間前に牛久自然観察の森のHP「観察の森最新情報」内に記載します。

Segway Premium Forest ガイドツアー

4月開催予定

野鳥や昆虫集う雑木林、カワセミのやってくる池など、爽やかな里山の風景の中、セグウェイに乗って1日限定1組(2名様まで)のプレミアムガイドツアーとして約3kmのコースを巡ります。全体を回るスタンダードプランや野鳥中心のバードプランなどをご用意する予定です。暖くなる4月から開催予定で、開催日時や参加条件等の詳細は、右下のQRコードよりご確認ください。



イベント情報は公式HPでもご覧頂けます。

施設のご案内

絵本コーナー

1階ラウンジにあり、有名なものや生きものの生態を分かりやすく掲載しているものまで幅広くそろっています。お気に入りのものを探してみませんか？



書 名 14ひきの
 びくにつく
 さ く いわむらかずお
 出版社名 童心社



書 名 葉っぱのあかちゃん
 著 者 平野隆久
 デザイン 鈴木康彦
 出版社名 岩崎書店

森のサークル活動

竹細工同好会

毎月第2土曜日

講師の指導のもと一輪挿しや花器を作っています。親子向けに風車作りや竹とんぼも一緒に作ることができます。

開催日時：午前10時～午後3時
 場 所：牛久自然観察の森
 (観察舎)

主 催：竹細工同好会
 備 考：参加希望の方、『観察舎』
 でお待ちしております。



牛久バードカービング同好会

毎月第1、3土曜日

木彫りで野鳥を精巧に作るアートクラフト。森の中で野鳥を彫り上げてみませんか？初めての方は講師が丁寧に指導いたします。

開催日時：午後1時～3時
 場 所：牛久自然観察の森
 ネイチャーセンター内
 レクチャー室
 会 費：500円/月
 主 催：牛久バードカービング同好会
 備 考：参加希望の方はまずは
 見学にいらして下さい。



申し込み & お問い合わせ 029-874-6600

開園時間 9:00～16:45 (11月～1月は16:00迄)

休園日 3月：5(月)、12(月)、19(月)、22(木)、26(月)
 4月：2(月)、9(月)、16(月)、23(月)
 5月：7(月)、14(月)、21(月)、28(月)

3月



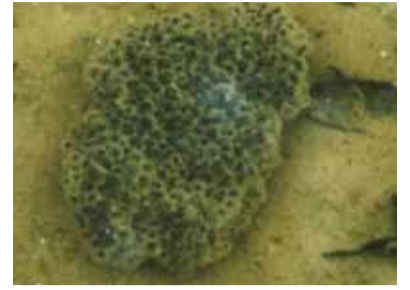
ニリンソウ
スプリングエフェメラルの一つ。1本の茎から2輪の花を付ける事が多い。



キクザキイチゲ
スプリングエフェメラルの一つ。薄紫色でキクのような花をつける。



ホソミオツネトンボ
冬の時の茶色とは違い、暖かくなると婚姻色の水色に変わる。



ヤマアカガエルの卵塊
2～3月に産卵する。卵塊は山盛りになり、1塊で500以上ある。

4月



クサボケ
コジユケイの林で見られる。低い所で咲き、花はオレンジ色で目立つ。



ウグイスカグラ
ラッパ状の淡いピンク色の花を咲かせる。ウグイスが隠れるといわれ、名前がついたともいわれている。



スマレ
葉は細く濃い紫色の花を咲かせる。第1駐車場や観察舎周辺で見られる。



ウグイス
普段はあまり見られないが、この時期に姿を現す事が多くなる。

5月



オドリコソウ
ネイチャーセンター前やタマムシの林で見られる。花が踊り子のように見える事が由来。



キジ
オスは高い所にのぼり、羽をばたつかせるホロウチという縄張り宣言を行なう。



キアゲハ
バッタの原で見かける事があり、この時期に飛んでいるキアゲハは小型で春型といわれる。



オナガアゲハ
森林性のアゲハチョウ、キアゲハと比べると見かける事が多い。

生き物コラム

3月の中旬頃から雑木林の足元に目を凝らすと、淡い紫色をした小さな花が咲いている事に気づきます。名前はタチツボスマレといい、タイミングが良い年だとたくさん咲き、まるで紫色のじゅうたんをひいたような光景が広がります。



タチツボスマレの群生、年によりたくさん花を咲かせる。

スマレ以外にもカタクリやキクザキイチゲ、ニリンソウなども咲き始めます。これらの植物はスプリングエフェメラルと呼ばれ「春の妖精」「春のはかない命」などと訳されることがあります。

なぜそのような名前がついているかというと、彼らは春に花を咲かせ、花が散り暖かくなる頃には地面の根以外を残して地表部のすべてを枯らし、来年の春にそなえるという特殊な生態をしているからです。



カタクリの花。背丈は10センチ程で3月に咲く花の中では大きく目立つ。

その中でも先ほど紹介したカタクリという植物は、花を咲かせるために7年以上の歳月が必要といわれています。春に咲く花達は淡い色のものが多く、暖かくなるにつれてツツジ等あてやかな花が目立ち始めるので、色の違いを楽しみながら季節を実感するのも楽しいでしょう。

またアズマヒキガエルというカエルは、3月頃に繁殖のために一度冬眠から目覚め、産卵してからもう一度寝ます。池に最初に集まるのはオスで、遅れて来たメスに集まります。メス1匹に対して複数のオスが群がる光景をガマ合戦といい、勝ち残り近くにいたオスたちが子孫を残す事が出来ます。



アズマヒキガエルの産卵。夜に行われメス1匹で数千個の卵を産む。

野鳥は4月頃には繁殖シーズンに入り、巣作りなどを開始しますが、カップルになるまでには大変な苦勞があります。

ウグイスは3月頃から「ホーホケキョ」と有名なさえずりを始めます。何回も練習を重ね、さえずりが上手いオスがカップルとして成立します。カワセミの場合はオスがメスのために魚などをとってプレゼントし、気に入ってもらえればエサを受け取り、巣作りに入ります。



カワセミのオス(右)がメス(左)にザリガニを渡しているところ。

自然の世界は勝ち抜いたものが子孫を残せるという、とても過酷な世界です。春にみなさんの周りで繁殖している生き物は、冬を無事に乗り越え、生存競争に勝ち抜いたということになります。